【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25201
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学 文学部 日本文学科	開催方法 (キャンパス・施設)	☒ 対面 (本学) ☐ オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	・ 同担拒否でもなぜ「推し」なのか？ ・ 黄門様は、はどうして諸国を旅することになったのか					
	学問分野	番 号	12・11	名 称	日本語学・日本近世文学	
3. 担当教員	川岸 克己・島田 大助 (文学部 日本文学科)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 6年 8月 5日 (月) 10時10分 ~ 14時00分 (90分× 2回)					
個別開講日	1回目 8/5	2回目 8/5	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
5. 募集定員	40人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>1. 「同担拒否でもなぜ『推し』なのか？」 8月5日 10:10~11:40 (川岸 克己)</p> <p>「新語」について考えます。新語は、国語辞典には載っていないけれど、確かに今そこにある単語のことです。かつては若者が新語の発信源でしたが、今日では若者に限らず、SNS等のインターネット空間がその発信源となっています。ここで生まれる新語にはどのようなものがあるのかを概観し、そこから私たちがどのような考えや気持ちで新語を生み出すのかについて分析します。さらには、日本語が新語を生み出す「造語力」(把握・創造・変換)についても考察しましょう。</p> <p>2. 「黄門様は、はどうして諸国を旅することになったのか」 8月5日 12:30~14:00 (島田 大助)</p> <p>徳川光圀は、徳川家康の孫であり、徳川御三家の一つ水戸藩の第二代目の藩主です。現代では、水戸黄門という名前で知られる、時代劇のヒーローです。 テレビなどでは黄門様を、助さん格さんをお供にして諸国を旅し、悪代官などの悪政に苦しめられる人々を救う天下の副将軍として描きますが、徳川光圀の実像とは、異なっています。 徳川光圀が、どのような経緯を経て、私たちが知っている黄門様になったのか、江戸時代に書かれた日記・実録体小説、明治時代以降に出版された講談本を参考にしながら考えてみたいと思います。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ ☐ ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日: 6月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン(同時・録画)の使用ソフト、受講時の注意など 女子に限る					
11. 開設大学への 交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。